

○事業所名	地域総合支援センター どんぐり1		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31家族	(回答者数) 19家族
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PT(理学療法士)、ST(言語聴覚士)、OT(作業療法士)による専門的支援を受けることができる。	専門職との多職種協働にてご利用児のさらなる成長につなげることができるよう、支援内容やご利用児の状況等を職員間で共有しながら療育に取り組んでいる。	専門的支援に対する説明や経過等をより詳しく保護者及びご本人に伝え、効果や成果を確認することができるように支援していく。また、引き続き職員同士が情報を共有しながら多角的にご利用児をとらえることで、より良い支援が提供できるように努めていく。
2	ご利用児が様々な体験ができるよう活動プログラムをチームで作成している。	毎日ミーティングを行い、ご利用時の支援内容や部屋割り、活動プログラム等についてチームで協議検討を行っている。活動については、様々な体験ができるように意見を出し合い、5領域に沿ってご利用児が楽しみながら力を伸ばせるプログラム作成を行っている。	目的を共有しながら様々な体験ができるように、引き続きチーム内でアイデアを出し合ったり、ご利用児の意見を取り入れたりしながら活動を提供していきたい。また、法人内でも支援及び活動内容について情報交換を行い、療育の充実を図っていきたい。
3	研修や委員会等、当センターだけでなく法人全体で取り組む体制が整っている。	法人の体制に基づき、当センターの課題を盛り込みながら正しくその目的が果たせるよう、担当職員を中心に必要な研修や会議、委員会等を計画的に実施している。	研修や会議等を実施する中で、福祉に携わる上での意識の高揚や専門性の向上を図り、より質の高いサービスの提供を目指していく。また、職員への指導や教育を丁寧に行うとともに職員同士のコミュニケーションを大切にすることで、職員が働きがいをもてる環境づくりに努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域と交流する機会が少ない。	・平日、下校後からの時間で地域の子どもと交流する場を持つことが難しい現状にある。	・事業所を知ってもらえる活動を地域に広げていく。 ・長期休暇時に地域での活動を取り入れたり、当センターが実施しているすまいるマルシェを活用したりしながら、地域と交流する取り組みを実施していく。
2	療育においてスペースが十分に確保できなかったり手狭に感じたりすることがある。	・訓練室が、ご利用児が体を動かして過ごすには十分な広さとは言えない。 ・長期休暇時には、未就学児とサービス提供時間が重なる。	・ご利用児の過ごし方や活動に合わせて、2部屋の訓練室や遊戯室を使い分ける。また、部屋割りや活動の内容等を工夫していく。
3	保護者やきょうだい同士で交流する機会が十分ではない。	・年に1回保護者説明会を実施しているが、参加が難しい保護者がいる。	・来年度も保護者会を実施し、保護者同士で交流ができるような内容も検討していく。 ・きょうだい児支援についても今後検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 地域総合支援センターどんぐり1

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 33名 (31家族)

回収数 19家族

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	80%	10%	0%	10%	・どちらともいえないに○をしている部分はこちらがあまり把握できていないだけで全体的に満足です。いつもありがとうございます。 ・児発と違い外側から見ただけなので長期休暇は狭く感じます。 ・中に入ったことがないので何とも言えない。	・子どもの過ごし方や活動に合わせて、対応する職員や場所の工夫を行い、ご利用児が安全で安心に、そしてのびのびと過ごすことができるよう環境設定を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	53%	26%	0%	21%	・職員の配置基準がわからない。	・現在、配置基準は満たしており、さらに加配職員も配置しております。今後も職員をそろえて安心してご利用いただけるようにいたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	74%	16%	0%	10%	・最近見ていないので不明です	・基本的にバリアフリーの構造になっており、わかりやすく構造化しています。また、視覚支援を取り入れた時間やスケジュールの提示も行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	74%	21%	0%	5%	・最近見ていないので不明です	・毎日の掃除や整理整頓を行い、できるだけ清潔に心地よく過ごせるよう努めています。また、活動内容に合わせた空間になるよう工夫しながらサービス提供を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	85%	10%	0%	5%	・STですが専門的となると不明。	・どんぐり1にはPT、ST、OTによる専門的支援を実施しています。日常的な情報の共有に加え、専門的支援に対する説明や経過等をより詳しくお伝えするようにしたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	85%	10%	0%	5%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	80%	16%	0%	5%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	79%	16%	0%	5%		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	26%	42%	10%	21%		・事業所を知ってもらえる活動を地域の児童クラブや児童館にも広げ、当事業所を活用しながらともに楽しめる機会を検討していきたいと考えています。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%	5%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80%	10%	5%	5%	・仕事をしている人には続けての参加が難しかったです。	・ペアレントプログラムは引き続き実施し、希望される方が少しでも参加しやすいよう託児の対応も行います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	85%	16%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	90%	10%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	85%	10%	0%	5%		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	32%	32%	10%	26%	・コロナ禍からか特別なような気がします。ただ、夜になるとなかなか行けない方もいるので仕方ないかと…。	・年に1回保護者会を実施していますが、時期や実施方法についてご意見もふまえながら検討していきたいと思ます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	78%	17%	0%	5%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	89%	5%	0%	5%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	61%	11%	0%	28%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	83%	0%	0%	17%		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	72%	17%	0%	11%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	78%	11%	0%	11%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	72%	22%	0%	6%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	83%	6%	0%	11%	・子どもからの訴えの時もあり、人数も多いため一人一人は難しいと思えますが、すぐに対応しています。	・事故等があれば速やかに連絡をさせていただきます。起こった経緯や原因についても詳細に説明し、再発防止策を講じた上で今後の事故防止につなげます。 ・事故を未然に防ぐための気づきを得られる職員育成に努めます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	83%	11%	0%	6%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%	0%	0%	・何となく全体的に質が落ちたような気がする。他の方もお話することがあります。 ・「はい」に「◎」をつけていただいた方あり	・質が落ちたと感じられているということは、ご家族の期待に添えていない部分があることだと思います。ご家族と話をする時間を多く設け、遠慮なくご意見等をいただけるよう、職員一同、より一層努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	地域総合支援センターどんぐり1				公表日	令和7年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	12%	・「療育活動内容によってはスペースが十分に確保できない時がある。複数の部屋に分かれたり時間をずらしたりして行ったりすることで対応しているが、初めから十分なスペースであることが望ましい」「手狭に感じることがある」という意見あり。 ・状況に応じて2部屋の訓練室や遊戯室を使い分けている。	・子どもの過ごし方や活動に合わせて、引き続き活動の内容や提供する場所の工夫を行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・「適切であるが、職員数を増やした方がいいと思うことがある」という意見あり。 ・配置基準は満たしているが、特性に合わせた対応が多様化しており人が足りないと感じることがある。	・職員間の連携や支援の工夫を日々検証し実行していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	・「後付けのドア緩衝材や見通しをよくするための廊下のミラーなどを設置し工夫しているが、構造上鍵の位置がドアの下方にある点は改善が必要と思われる」「子どもによってはわかりやすい構造化をしているが、木造の作りであったりトイレの鍵などリスクが考えられる構造だと感じる」という意見あり。 ・基本的にはバリアフリーの構造となっているが、必要に応じて工夫し対応している。 ・ご利用児に伝わりやすいよう時間やスケジュール等の提示を視覚支援にて行っている。	・改善が必要な部分は速やかに改善をする。 施設整備としての改善が難しい場合には、リスクを軽減できる手段を検討して対応することで、事故を防いでいく。 ・考えられるリスクを共有し、事故を未然に防ぐための取組を推進していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	12%	・下校時間等の違いにより余暇や学習時間、療育活動時間が子どもによってずれることがあり、その際個々に合わせた空間を作ることが難しい時がある。大きく体を動かす活動内容やイベント開催の時には遊戯室を利用したり、訓練室2部屋を1室にしてスペースの拡張するなど工夫している。	・子どもの過ごし方や活動に合わせて、引き続き活動の内容や提供する場所の工夫を行っていく。 ・清潔で整理整頓された空間を保てるよう、環境整備に努めていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・状況に応じて更衣室やスヌーズレン室等を使用している。	・引き続き必要に応じた個別支援を行っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・毎月、チーム会議を開催し、事業に関する検討協議を実施し、内容については各部署へ伝達を行っている。 ・毎月1回の事業会議を開催し、ご利用児の支援についての検討・周知を図っている。	・職員が等しく参画することで主体的に業務に臨むことができるように
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者からのご意見は常に意識し、職員間で周知を図りながら保護者の思いを踏まえて改善するよう努めている。 ・法人のサービス向上委員会の取組として、サービス向上に向けたアンケートを実施し保護者の方のご意見を伺う機会を設けた。	・いただいたご意見を職員間で共有し、具体的に業務改善につなげていくよう努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・日々のミーティングや会議を通して意見を把握しながら、業務改善に努めている。	・引き続き、職員が意見を出しやすく、気づきを活かしやすい環境づくりを行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	・月に1回、第三者委員による生活相談日を設けている。 ・第三者による外部評価は行っていないが、今年度分より第三者委員の方の協力を得て、アンケートの総括結果に対してご意見をいただいている。	・課題や改善点に対して具体的に対応し、業務改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・地域総合支援センターにて行われる職場内研修や外部研修、法人研修に参加している。 ・復命研修を行い、資質向上に努めている。	・職員が研修で得た知識や支援技術を共有できるように復命研修の充実を図っていく。 ・資格取得についても推奨していく。

11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	・現在作成中である	・迅速に作成し、作成後は公表をする予定である。
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・児発管が中心になり、モニタリング会議やアセスメントを行い個別支援計画を作成し、定期的に評価・見直しを行っている。 ・ご利用児の状況や保護者との情報共有の内容を反映させている。	・日頃からご利用児の状況や保護者の意向、支援計画に対する経過等を共有し、そのご利用児のさらなる成長につながる計画作成に努めたい。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・計画の作成にあたっては、児発管を中心にチームの中で意見を出し合いながら協議する場を設けている。	・日頃からご利用児の状況や保護者の意向、支援計画に対する経過等を共有し、同じ方向を向いてご利用児支援が継続できるようにしていく。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画に沿った支援が確実に行われるようにチーム内で相互に確認しながら支援を行っている。	・計画と支援が乖離していくことのないようにサービスの提供状況や内容を把握し必要な指導を行っていく。
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・事業所で決められた標準化された様式を使用している。	・より丁寧なアセスメントを行ってきたい。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・発達段階に応じた活動及び状況に応じ5領域に沿った活動を提供している。 ・専門職による専門的支援を行っている。 ・児童の成長段階、学年、就学等のステージに合わせた計画内容を策定している。	・5領域に沿った本人支援や家族支援、移行支援等について、職員間で理解を深めていくことが必要と感じる。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・チーム内で共有し支援が行われている ・毎朝ミーティングを行い、部屋割りや活動プログラムの詳細を決めてチームで取り組んでいる。様々な意見を出し合いながら、子どもが楽しみながら力を伸ばせるプログラム作成を行い、より内容を充実させて効果を図っていききたい。	・目的を共有しながら多くの体験ができる活動が提供できるように、引き続き様々なアイデアを出し合ったり、法人で作成した活動集を活用したりしていきたい。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・5領域に沿った活動プログラムの作成を行い様々な体験ができるように支援している。 ・日々のご利用児の成長に合わせて、変化を加えている。	・現状のとおり、多岐にわたる活動を提供していく。
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・個別及び集団での療育活動を行っている。 ・集団での支援に併せて個別支援についても支援計画の中に挙げている	・個別支援のさらなる充実が図れるような支援計画の作成に努めていく。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎朝の職員ミーティングにて、活動の流れや支援の留意点、ご利用者の状況等を話し合い、当日の職員の役割分担を確認している。 ・打ち合わせの時間は持っているが、もう少し詳しく情報を共有できるとよいと思うことがある	・全員が等しく情報共有ができるように時間を設け、もれのないように確認をしていきたい。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	・職員の勤務時間が違うことで、当日は話し合うことが難しいが、支援内容の報告、必須の情報共有、ご利用児の留意事項については翌朝のミーティングにて職員間で必ず周知を図っている。 ・打ち合わせの時間は持っているが、もう少し詳しく情報を共有できるとよいと思うことがある。	・より詳しい情報共有、支援内容の振り返りに努めていく。 ・勤務で当日休みの職員には引継簿（書面）及び、出勤時に口頭で引継を徹底していく。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・すぐに記録し検証につなげている ・記録に関しては日々作成している。また、支援の検証・改善については記録だけでなく、日々の職員間でのタココミュニケーションを深める中でタイムリーな情報共有に努めている。	・職員が同じ視点で記録できるように育成をしていくことが課題である
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・児発管を中心に職員間で情報共有し、モニタリング会議を行っている。	・余裕をもってより丁寧な見直しができるように努めていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	・基本活動を複数組み合わせているが、地域交流の機会の提供については課題である。 ・ガイドラインについては職員間で周知を図っている。	・日常の支援の中で「4つの基本活動」をより意識できるように職員の意識づけを図っていく。
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・カリキュラムの中で育む支援がされている	・自分の意思をもつ、意思を表出する、自分で考えて行動する、選択することができる力の育成に向けた支援を行っていく。

関係機関 や保護者 との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・児発管を中心に対象ご利用児に対してアセスメントできている職員が出席している。	・出席した会議の伝達を確実に行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携を図り、支援を行っている。	地域の保健、医療との連携は十分ではなく、地域のネットワーク作りが必要と考えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・学校との連絡調整により共有が図られている ・基本、保護者からの情報収集による学校の計画、行事等については把握を行っている。 また、保護者の了承を得た上で学校発出の情報誌や各種連絡・下校時刻記載のプリントを確認させていただいている。 ・学校へのお迎えの時に担当教諭よりその日の児童の状況の情報提供を受けその内容により当日の支援の内容や配慮を行っている。 ・「学校の支援計画を見せてもらい、学校とどんぐりが同じ方向で支援をしていくことを確認できるとよいのでは」との意見あり。	・送迎時だけではなく、必要に応じて学校に連絡をとり、連携の強化を図っていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・保育所等への巡回により努めている ・相談支援事業所と連携して行っている。 ・児発管が利用前の担当者会議に出席し、就学前の保育所等の担当者、就学先の学校の担当者と情報共有し児童の支援内容や共通事項について確認を行っている。	・できれば利用前に保育所等で過ごす様子を見に行くことができたかと考えている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・相談支援事業所と連携して行っている。 ・児童の職場実習先の担当者や障害福祉サービス事業所の担当者との情報共有のための連携を図っている。 ・「学校を卒業した児童とまだ接したことがないのでわからない」という意見あり。	・新採用職員に対し、過去の事例や今後の支援の方向性等も含めて情報を共有する場を設けていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	71%	29%	・児発管を中心に専門機関と連携を図っているが、より連携を深めていきたいと考えている。 ・北部圏域児童発達連絡協議会主催による研修会に参加している。	・今後、児童発達支援センターとの連携をさらに深め、客観的に事業所をとらえる機会を設け助言等を受けることで、支援の質の向上につなげていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	29%	71%	・土曜日のマルシェをする時に、近くの保育所や学童にチラシを配るとよいのではと思う ・今後の課題だと感じている ・平日、下校後からの時間で地域の子どもと交流する場を持つことが難しい現状にある。 長期休暇等を利用して交流する取り組みを検討していく。	・事業所を知ってもらえる活動を地域の児童クラブや児童館にも広げ、当事業所を活用しながらともに楽しめる機会を検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・地域総合支援センターの職員が参加しており、復命で情報共有を図っている。	・地域総合支援センターの職員が委員となり出席し、その復命を受け情報共有をしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・自宅送迎時に必ず保護者にその日の状況や活動の様子を口頭で伝達している。 ・特記でお知らせすることは当日に必ず保護者に連絡・報告している。 ・連絡帳に困りごとの記載があった際にはその日に書面で返答し、内容によっては直接電話連絡を行い対応している。 ・個別に保護者からの相談があったときには、時間を設けて対応している。	・小さな情報でも必ず職員間で共有し、保護者へお伝えする。そのためにも、職員同士のコミュニケーションを密にとり、情報共有を常に念頭において支援する。 ・ご意見や相談等があれば必ず保護者へ確認を行い、誠心誠意対応する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・定期にペアレントプログラムを実施し研修の機会を提供している。 ・内容によっては個別に時間を設け、保護者支援を行っている。	・来年度もペアレントプログラムを実施する。実施前には多くの方に参加の呼びかけを行う。また、少しでもご家族が参加しやすいように託児も実施する。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・児発管が契約時に説明している。	・初めての方でもわかりやすい説明に努めていく。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・児発管が直接ご利用児や保護者に確認し、支援計画を作成して支援の統一を図っている。	・モニタリング会議を活用する場合には、今後ご利用児の出席についても呼びかけていくことが必要だと思われる。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・児発管が支援計画を示しながら説明し、同意をいただいている。	・丁寧な説明を心がける。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、支援会議等で相談を受けた際は丁寧に対応し、チームで共有している。 ・必要に応じて個別に時間を設け相談を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もご家族の想いを大切にしながら話を伺い、一緒に課題を整理したり必要な情報を提供したりすることに尽力していきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の保護者懇談会を実施している ・「わからない」との意見あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も保護者会を実施し、保護者同士で交流ができるような内容も検討していく。 ・きょうだい児支援については今後の課題である。 ・新採用職員にこれまで実施してきた取組を周知する必要あり。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情相談委員会の第三者委員による生活相談日を月に1回設けている。 ・早期対応を心がけるとともに真摯に受け止め、早急な対応、丁寧な説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速に事実を確認した上で丁寧な説明を行い、解決に向けて対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳や法人HPへの掲載等で情報発信をしている。 ・連絡体制については、個人ごとに緊急連絡先を整理して冊子にしているため、有事の際にはその情報をもとに連絡を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予約アプリを導入したので、その活用についても今後検討していく。 ・法人HPの掲載についても頻度を上げ、情報発信に力を入れていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・法律に基づき細心の注意を払っている。 ・法人で決められた行動規範チェックを定期的に実施し、正当は個人情報の取り扱いについて確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守を徹底するよう、引き続き職員教育を行っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは電話やメール、文書だけでなく、直接話をして共通認識を図っている。 ・児童については特性に応じた方法でコミュニケーション、意思の疎通を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法や手段についてさらなる工夫をし、職員間で共有していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域総合支援センターとして、毎月1回のすまいるマルシェを実施し、マルシェの開催に合わせて子どもたちの作品を出品している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用時のイラストを用いた作品を販売することで、地域の中にある事業所としての認知度を高めていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には周知・徹底している。 ・各種マニュアルについては策定済みであり、訓練も適切に実施している。 ・感染防止のためのマニュアルに沿って、保護者にも協力をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きマニュアルの周知徹底を図っていく。 ・訓練等については計画に沿って実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修や訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ業務継続計画の内容を周知できるよう配慮していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・発作や持病があるご利用児については対応マニュアル（支援の統一事項）を作成し、適切な初動対応が取れる体制を整備している。 ・予防接種は把握できていない。 ・「一人ひとりのご利用児の資料をまだ全部読めていない」との意見あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新採用職員が全てのご利用児の情報を確認した上で必要な支援を主体的に行うことができるよう、育成を図っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が食物アレルギー表を作成し、職員間で周知し対応している。 ・医師の指示書に基づく対応はないが周知していきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報は冊子にして職員が見やすいようにしているため、職員全員で必ず把握をし、今後も共通認識が持てるようにしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に基づいた研修や訓練、安全点検等は適切に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて見直しを行いながら、ご利用児が安全安心に過ごせるよう管理していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画については今年度ご家族への周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ご利用児については契約時に説明を行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域総合支援センター内でリスクマネジメント委員会を毎月実施し、検証している。 ・部署内だけでなく、全体でヒヤリハットを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきの視点を多くもち、事故防止につなげることができるよう職員育成を図っていく。 ・過去の事故に対する再発防止対策を念頭においた支援を徹底していく。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置し、少なくとも3ヶ月に1回以上開催し、ケースの周知や今後の対応の協議等をしている。 ・地域総合支援センター内で虐待防止研修を実施している。 ・虐待防止チェックリストを用い、チームで支援を振り返る機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びが深まる研修の組み立てを行うことで虐待防止の意識を高めていきたい。 ・職員同士のコミュニケーションを図りながらチーム支援を行い、不適切な支援につながらないような環境づくりを行っていく。 	

	54	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束適正化委員会を設置し、少なくとも3ヶ月に1回以上開催し、身体拘束の状況や今後の対応について協議検討をしている。 ・現在対象児童はいないが、身体拘束を行う場合は委員会の中で協議した上で決定している。そして、支援計画に記載し、ご本人とご家族に必ず同意をとり、支援内容を記録を残すようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について、具体的な解除方法の事例等を共有する研修を行うことで理解を深めていきたい。
--	----	---	------	----	---	--